

はじめに CSRの背後にあるもの 宇佐神・村山

第一部 ライフヒストリーから学ぶ道德

K銀行 佐藤

校正へ

M物産、大学教員として +カルテル問題 古山

修正依頼

私の小学校教育 (?)

青木崇さん父

6000字

第二部 倫理学の視点

西洋倫理学の日本の理解—和辻と金子の倫理学 宇佐神

カントの倫理学の基礎とビジネス倫理

新川

英米の哲学・思想 (?)

高田一樹

プラグマティズムの経営倫理学 岩田浩先生に依頼へ

第三部 教育史、福祉学の視点

教育勅語と近代日本

緒賀

現在の課題、経営史の視点も入れて修正へ

教育とケア、働く女性

望月

第四部 伝統思想からの学び

懐徳堂 辻井

石門心学 辻井

陽明学 山本

近江商人と伊藤忠

青木崇

老舗研究からの示唆

村山

6000字

水戸の思想—「道德」教育

但野正弘 (水戸史学会事務局長) △ 6000

第五部 商業道德、啓蒙的な企業家

高校の「道德」教育—茨城県の事例

大内一幸 (元水戸商校長) △

6000

「山口高商、小樽高商の経営倫理教育 ? 」

井上

「企業家殿堂」の選定を巡って

村山

稲盛和夫の経営哲学

青木崇

第六部 実践編

(削除か?)

スピリットトレーニング—「日本経営道協会」

市川・村山

6000

サービスマーケティング—南部塾のケーススタディ

村山

6000

第七部 未来の経営倫理

21世紀と日本

宇佐神

あとがき

宇佐神・村山

執筆要領

- ・ 2018年3月までに原稿を集める
- ・ 大学でのビジネス倫理教育のテキスト 20万字（12,000×20本 = 240,000）
- ・ 新聞レベルで、初学者にも分かりやすく、同時に専門性にも配慮し、本部会のオリジナルの作品を世に問う。
- ・ 引用先を明示する。脚注か本文に引用先を書く。（引用・参考文献の書式を配布予定）